

ホームページ



http://uchida-ta
motsu.jimdo.com

南知多民報

発行：日本共産党
南知多町委員会
連絡先：町議会議員 内田保
南知多町内海内塩田77-3
(TEL・FAX: 0569-62-1816)



コロナ対策を継続して！ 新たな感染に備え、町民のみなさんの切実な声を届けました

3月議会は、文教厚生委員会と総務建設委員会の委員長2人が代表しての、一般質問になったため、内田保議員は、予定していた質問内容を2人の委員長に提出しました。内田議員が出した中から、○ワクチン接種の体制について ○コロナ対策の水道基本料金の無料期間の延長と今後の国の交付金の支援についてなどの質問が行われました。

町当局から、「南知多町でのワクチン接種は、接種券を4月15日から配布し、65才以上の高齢者に5月から接種が開始され、9月末までに高齢者の接種が終了する予定である。水道料金の無償化は今のところ予定していない。国の第3次補正予算の交付金1億4千万円の使途はまだ検討中である」との説明がありました。

新型コロナ感染から町民の命と暮らしを守る町政に



要望書を町長に手渡す内田保議員（2021年1月14日）

日本共産党南知多支部と内田議員は、石黒町長へ「2021年度町政に対する要望書」を提出し、懇談しました。

まず新型コロナウイルス感染症対策と当面の重点要望を、その後町政全般①市民のくらしと営業、観光、漁業、農業を守る積極的な条件整備を ②福祉の向上、くらしと健康を守る優しい町に ③行き

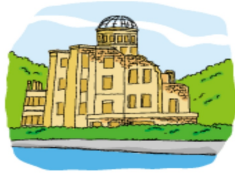
届いた教育、文化の振興で子どもが輝く南知多町に ④公平・公正で民主的な町政のために ⑤安心・安全な地震災害対策のために一について、話し合いました。

2月12日に16項目の重点要望に対する回答がありました。その中からいくつか紹介します。

南知多町も非核平和都市宣言を

《要望》非核平和都市宣言を早期に実現し、これまでのパネル展示などの他、映画の上映、被爆者の講演、児童生徒の広島への派遣など、平和行政を推進するとともに、より有意義な企画をしてください。

《回答 総務課》本町においては、今後もパネル展の開催や平和首長会議の活動を通じ、町民の機運を盛り上げていく中で、議会と歩調を合わせつつ、宣言について検討していきたいと考えています。



《要望》核兵器禁止条約に日本も署名・批准するために、南知多町の町長としても、平和首長会議とは別に積極的に要請してください。

《回答 総務課》国際情勢を踏まえて慎重に進めるべき課題であると認識しているため、要請については、差し控えてさせていただきます。

3月議会では、町民から「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」の採択を求める請願書が出され、内田保議員が紹介議員として賛成討論をしましたが、否決されました。

全国ではすでに531自治体で採択されています（2021年2月2日現在）。日本が被爆国として、核軍縮のリーダーとなるべきと世界から望まれています。



持続化給付金の継続を

《要望》第3次補正予算では、持続化給付金・家賃支援給付金・雇用調整助成金等を打ち切り・縮小することなく自治体への直接支援を強めるよう国に求めてください。

《回答 産業振興課》持続化給付金、家賃支援給付金、雇用調整助成金については、国から事業者への直接支援となっています。国に対して打ち切り、縮小することのないよう機会あるごとに要望したいと考えています。

給食費無償化の継続を

《要望》給食費の無償化を継続してください

《回答 総務課》今のところ、給食費の無償化を当面続けることは考えていない。

県下では、豊根村が2020年度から小中学校給食費を完全無償化にしています。その他、大口町が半額補助、岡崎市が4月分無料、安城市、岩倉市が義務教育の第3子以降を無償化するなど、県下15市町村（28%）が独自支援に取り組んでいます。

2020年度は、南知多町も含み28市町村（52%）が、コロナ対策として期限付きで、給食費無償化に取り組まれました。ぜひ継続してほしいものです。

